

# 景観に配慮した自然石による石積護岸を設置する工事の手順（令和元年度実施）

## 護岸補修 着手前



### ①既設護岸取壊



川の水が入ってこないように締切を行い、古い護岸を取り壊します。もちろん、振動・騒音に配慮しながら行います。

### ②基礎設置箇所の床堀



護岸の土台となる基礎を設置するために河床を掘削します。掘削時の湧水は、排水ポンプにて排除します。

### ③基礎（二次製品）据付



決められた位置・高さにコンクリートで作られた護岸の基礎を設置し、空洞部にコンクリートを流し込み基礎設置完了です。

### ④法面整形



続いて護岸の法面部の施工に入ります。まず、施工の支障となるような浮石、崩土等を除去・清掃し、機械で締め固めます。



### ⑤石材運搬

川の堆積土砂から採取した石のかみ合わせを石工さんが1つ1つ確認しながら次の石を選び、1つ1つクレーンで設置位置にまで吊り上げて運びます。

### ⑥石材敷設



石工さんが、大きな石同士のかみ合わせを確認しながら平らな面を上配置し、景観にも配慮して石を積みます。

### ⑦石材間へコンクリート打設



1段の石の設置が完了したら、石同士をくっつけるためのコンクリートを投入します。コンクリートを隅々まで流し込むためにバイブレータを使用します。

### ⑧コンクリート打設箇所付近の清掃



石に付着したコンクリート等をブラシを使いきれいにし、上の列の作業に移行します。1段ずつ手作業で丁寧に作業を行います。

### ⑨天端コンクリート打設



石積みをした天端（最上部）の高さを均一にするために、コンクリートを金ゴテを使用し丁寧にきれいに仕上げます。

